

地域交流会 「高の原会」

Web講演会が開催されました。

2020年10月24日開催 テーマ：不整脈カテーテルアブレーション

密を避けて・密な連携

当院が位置する奈良県北部・京都府南部周辺の地域住民の皆様方に貢献するため、地域医療を最も大切に日々診療を行なっている当院にとって、地域密着型で診療されている開業医の先生方との連携は、地域住民の皆様方の安心をお届けするためには大変重要と考えています。

毎年当院では、診療活動報告のため登録医の先生方にお集まりいただき、地域交流会「高の原会」を実施しております。しかし今年は新型コロナウイルスの影響により感染拡大防止の観点からオンラインでの開催となり、参加していただいた先生方の診療所と当院の講義室、そして講師の医師がインターネット回線を通じて情報交換を行いました。

今回は当院循環器内科アブレーション担当 綿貫正人医師が「心房細動における地域医療連携とカテーテルアブレーション」をテーマに講演されました。



当院講義室 間隔を空けて密を避けて



演者 綿貫正人医師（左）座長 片岡一明医師（右）

当院の循環器疾患治療に特化したセンター、かんさいハートセンターが2019年12月不整脈カテーテルアブレーションの治療を開始いたしました。不整脈カテーテルアブレーションとは、動悸や息切れなどを症状とする脈の乱れ（不整脈）を、足の付け根などから挿入されたカテーテル（細い管）によって、不整脈の根治が期待できる治療法であります。



カテーテルアブレーションの様子

講演では、不整脈カテーテルアブレーションの歴史から経験豊富な綿貫医師が経験してきた数々の治療法が紹介されていました。なかでも不整脈カテーテルアブレーションは現在も日々発展しており、最新の治療によって、現在でも治療成績が高く向上していることが印象的なお話しでした。

質疑応答では、開業医の先生より、治療後診療所へ戻られてからの服薬や当院への紹介のタイミングなどについてのご質問があり、今後も治療対象の患者様が当院で、より円滑に治療が受けられ、治療後は安心して診療所での診療を受けられる体制を作り続けるために、当院にとっても大変有意義な時間となりました。



講演のプレゼンテーションの一枚

ご協力いただきました皆様方有り難うございました。

これからも当院は、“密”に連携をとり、地域の開業医の先生方と協働し、地域住民の皆様が安心して生活いただける環境作りに取り組んでまいります。